

# 大学生のための 未来戦略ライブラリ

## Design Philosophy

未来の選択肢を広げる。

薬学生・生命科学系学生のための  
学習・キャリア支援プラットフォーム

YUTO MATSUI | 学生支援団体COMPASS 代表  
最終更新日 2026年6月16日

COMPASS 公式サイト: <https://compass-official.pages.dev/>  
未来戦略ライブラリ 公式サイト: <https://compass-official.pages.dev/future-strategy-library/>

# 未来戦略ライブラリとは

本ライブラリは、学生が自らの判断で未来を切り拓くための選択肢と判断軸を提供する学習・キャリア支援プラットフォームである。

知識を一方向的に与えるのではなく、学生が自分の意思で学び、考え、行動するためのきっかけを提供する。

## 対象

薬学生・生命科学系学生を主な対象とし、学習・英語・AI活用・研究室選択・試験対策・キャリア形成を一体的に支援する。

## 目的

大学生活における重要な意思決定を、断片的な情報ではなく、将来像と結びついた判断軸として整理する。

## 提供価値

英語・AI・研究・試験対策を「未来の選択肢を広げる」という共通理念で統合し、実用性と啓発性を両立する。

## 運営形態

公式サイトを登録窓口とし、登録制、登録自動化、対象者明確化、利用規約整備により、安全性、著作権保護、読者適合性を同時に確保する。

## CORE

## 本事業の基本理念

未来の選択肢を広げる。

英語、AI、研究室選び、試験対策、キャリア情報は独立したテーマではなく、学生が専門性を高め、社会とつながり、自分の未来を主体的に選択するための手段である。

# 活動目的

大学生生活の重要な選択に、学生目線で整理された「判断軸」を届ける。

01

## 本ライブラリが向き合う課題

大学生生活においては、英語学習、AI活用、研究室選択、大学院進学、就職活動など、多くの重要な意思決定が行われる。しかし、それらは必ずしも体系的に整理されて学生へ届いているわけではない。情報を知る時期や相談できる相手の有無によって、将来の選択肢に差が生じることがある。

02

## 目的

本ライブラリは、薬学生・生命科学系学生を主な対象とし、学習、英語、AI活用、研究室選択、試験対策、キャリア形成に関する資料を提供することで、学生が自らの判断で将来を切り拓くための選択肢と判断軸を得ることを目的とする。

03

## 押し付けではなく、自律への支援

本事業は、特定の進路への誘導や正解を提示するものではない。むしろ、学生一人ひとりが自身の専門性、関心、将来像を見つめ直し、自律的に行動できるよう支援することを重視する。

早い段階で選択肢に気づくことが、数年後の進路と学習行動を大きく変える。

### 学習支援

試験対策や勉強法を、短期的な成果だけでなく本質的理解へ接続する。

### キャリア支援

英語、AI、研究、進路情報を、将来の選択肢を広げるための視点として整理する。

# 未来の選択肢を広げる。

本ライブラリは、学生が自身の未来の選択肢を広げ、自らの判断で進路を設計できるよう支援することを基本理念とする。

## Mission | 使命

薬学生・生命科学系学生に、学習とキャリア形成を結びつける判断軸を届ける。知識の提供に留まらず、利用者が自分の意思で学び、考え、行動するためのきっかけをつくる。

## Vision | 目指す姿

学生が、英語・AI・研究・試験対策を単発の課題としてではなく、自身の専門性と未来の選択肢につながるものとして捉えられる学習環境を形成する。

## Value | 提供価値

正解を押し付けず、選択肢と判断軸を示す。対象者を明確化し、読者に実感を持って届く資料を提供する。オリジナル資料を中心に、透明性と安全性に配慮して運営する。

英語は、AIは、研究は、試験対策は、すべて未来を主体的に選ぶための手段である。

# 運営方針

本ライブラリは、資料の品質だけでなく、利用者が安心して活用できる仕組みを重視する。

## 4.1 正解の提示ではなく、判断軸の提供

本ライブラリは、特定の進路、資格、研究室、学習方法を唯一の正解として提示するものではない。重要なのは、学生が自分の状況に応じて判断できることである。そのため、各テーマについて複数の視点を提示し、読者が自ら考え、選択するための判断軸を提供する。

## 4.2 対象者を明確化した価値提供

本ライブラリは、主に薬学生・生命科学系学生を対象とする。この対象設定は、単なる利用制限ではなく、資料の価値を最大化するための設計である。薬学・生命科学分野では、論文読解、学会発表、医薬品情報、国際共同研究、大学院進学、製薬企業や医療現場での専門職キャリアなど、英語・AI・専門性が密接に関わる場面が多い。

## 4.3 登録制による安全性と適合性の確保

本ライブラリは登録制で運営する。登録制とする理由は、著作権保護や無断転載防止に加え、利用者の適合性を高めるためである。対象者を明確にし、利用規約や個人情報の取扱方針を示すことで、利用者が安心して資料を活用できる環境を整備する。

運営の透明性は、資料そのものの信頼性と同じくらい重要である。

# コンテンツ構成

4つの領域を中心に、学習とキャリア形成を一体的に支援する。

## 5.1 英語学習支援

資格取得を目的化せず、英語を専門性と未来の選択肢をつなぐ手段として位置づける。

## 5.2 AI活用支援

AIを作業効率化だけでなく、より深く考え、誠実に学び、成果に責任を持つための支援手段として扱う。

## 5.3 研究室選択・キャリア形成支援

表面的な評判ではなく、価値観、適性、成長可能性に基づいて進路を考える判断軸を提供する。

## 5.4 試験対策支援

その場しのぎの暗記ではなく、本質的理解と将来の専門学習につながる学習姿勢を支援する。

個別資料ではなく、資料群全体が一つの導線として機能することが、本ライブラリの中核的価値である。

英語、AI、研究室選択、試験対策は、いずれも学生が専門性を高め、社会とつながり、自分の未来を主体的に選択するための手段である。本ライブラリでは、これらを「未来」という共通コンセプトのもとで統合し、学習とキャリア形成の連続性を可視化する。

# 英語学習支援

英語学習を資格取得や試験対策で終わらせず、専門性を世界とつなぐ手段として設計する。

## PURPOSE

### 目的

英語学習を単なる資格取得や試験対策として扱うのではなく、学生が専門性を世界とつなぎ、未来の選択肢を広げるための手段として位置づける。

## MATERIALS

### 代表資料

#### 翻訳できる時代に、なぜ英語を学ぶのか。

薬学生・生命科学系学生のためのAI時代の英語学習ロードマップ。英語学習の目的を問い直し、資格資料への入口をつくる。

#### TOEICから、世界へ。

TOEICを、英語で学び、考え、未来を選ぶための入口として位置づける。

#### 英検1級、その先へ。

英検1級を、世界とつながり、自らの未来を切り拓くための出発点として位置づける。

## FEATURES

### 特徴

英語学習支援では、まず「なぜ英語を学ぶのか」という問いから出発する。AI翻訳や生成AIが普及する時代において、英語学習の目的は変化している。しかし、英語力は単に文章を理解するためだけでなく、情報へ直接アクセスし、専門性を発信し、世界とつながるための力である。

本ライブラリでは、TOEICや英検をゴールとして扱わない。TOEICは英語学習を始めるための入口であり、英検1級は世界とつながり、自らの未来を切り拓くための出発点として位置づける。これにより、資格試験対策と実用英語、さらに専門職キャリアを一体的に結びつける。

英語は、未来へのパスポートだ。

# AI活用支援

AIを使うことではなく、AIを使ってより深く考え、より良い成果に責任を持つことに価値を置く。

## PURPOSE

### 目的

AIを単なる作業効率化の道具としてではなく、学生がより深く考え、より誠実に学び、より良い成果に責任を持つための支援手段として活用できるようにする。

## POLICY

### 方針

#### 特定サービスへの誘導を目的としない

AI活用支援では、特定のAIモデルやサービスへの誘導を目的としない。重要なのは、AIを使うこと自体ではなく、AIをどのように使い、どのような成果に責任を持つかである。

#### 学習と研究準備のパートナー

本ライブラリでは、AIを学習補助、文章作成、英語学習、研究準備、思考整理のためのパートナーとして位置づける。

#### 学術的誠実性への配慮

大学公式ガイドラインや参考文献を踏まえ、AI利用における学術的誠実性、著作権、情報の正確性にも配慮する。

#### 人間が主語である設計

AIに任せるのではなく、AIとの対話を通じて自分の判断を磨く。成果物の責任は利用者自身が持つ。

AIは、自己価値を最大化するための伴走者である。

# 研究室選択・キャリア形成支援

表面的な評判や短期的な損得ではなく、自身の価値観、適性、成長可能性を踏まえて選択できるよう支援する。

## PURPOSE

### 目的

学生が研究室選択や将来設計において、表面的な評判や短期的な損得だけで判断するのではなく、自身の価値観、適性、成長可能性を踏まえて選択できるよう支援する。

## FEATURES

### 特徴

#### 特定研究室への誘導を行わない

本ライブラリでは、特定の研究室名を挙げて誘導するのではなく、研究室選びにおける判断軸を提供する。

#### 判断軸を提示する

研究テーマ、指導体制、研究室文化、進路実績、自分の興味との一致、成長環境などを総合的に考える視点を重視する。

#### 多様な進路を尊重する

薬剤師、製薬企業、研究職、大学院進学、海外挑戦など、多様な進路を尊重し、自身の専門性を未来へ接続する機会を提供する。

#### 専門性を社会へ接続する

進路選択は単なる所属先の選択ではなく、自分の専門性をどのような場で育て、社会へ届けるかを考える機会がある。

本ライブラリは、学力向上だけを目的とするものではない。専門職としての未来を主体的に選ぶための地図を提供する。

# 試験対策支援

大学の講義試験や各種試験を、本質的理解と将来の専門学習につなげる。

## PURPOSE

### 目的

大学の講義試験や各種試験において、単なる暗記やその場しのぎの対策ではなく、本質的な理解に基づいた学習を支援する。

## POLICY

### 資料作成方針

#### 著作権への配慮

本ライブラリの試験対策資料は、過去問題や講義資料の無断掲載を行わず、運営者が独自に作成したオリジナル資料を提供する。

#### 解答ではなく思考プロセス

資料では、単なる解答提示ではなく、なぜその答えになるのか、どのように考えるべきかという思考プロセスを重視する。

#### 理解するための学習

利用者が試験を乗り越えるだけでなく、薬学・生命科学分野における本質的理解を深めることを目指す。

#### 将来の専門学習へ接続

短期的な試験対策を、研究室配属後の文献読解、実験理解、専門職キャリアに必要な基礎理解へ接続する。

試験対策資料は、ライブラリの起点であり、学生の学びを本質へ導く入口である。

# 本ライブラリの独自性

単に資料を提供するのではなく、資料全体が一貫した理念と導線を持っている点にある。

## 1 | 統合性

一般的な学習資料は、英語、AI、試験対策、進路選択を個別に扱うことが多い。本ライブラリでは、それらをすべて「未来の選択肢を広げる」という共通理念のもとに統合している。

## 2 | 行動への導線

利用者は単発の情報を得るだけでなく、自分がなぜ学ぶのか、何をを目指すのか、次にどのような行動を取るべきかを考えることができる。

## 3 | 学習者を生み出す設計

本ライブラリは、英語学習者を支援するだけでなく、利用者を英語学習や主体的なキャリア形成へ導くことを目指している。

## 4 | 対象者に深く刺さる価値

薬学生・生命科学系学生という対象を明確化することで、一般論ではなく、専門性、研究、医療、製薬、大学院進学と結びつけた具体的な価値を届ける。

広く浅くではなく、必要な学生に深く届くことを重視する。

# 期待される効果

利用者が、自身の専門性と将来像を結びつけ、具体的な行動へ移ることを目指す。

## 01 | 英語学習の意義理解

薬学生・生命科学系学生が、英語を資格ではなく専門性を広げる手段として理解する。

## 02 | 具体的な行動促進

TOEIC、英検、AI活用、研究室選択などに対する最初の行動が促される。

## 03 | 専門性と将来像の接続

学生が自身の専門性を、研究・医療・製薬・国際的キャリアなどの将来像と結びつけて考える。

## 04 | 理解中心の学習形成

試験対策において、暗記中心ではなく、思考プロセスを重視する学習姿勢が形成される。

## 05 | 多様な進路への視野拡大

大学院進学、研究職、製薬企業、医療職、国際的キャリアなど、多様な進路への視野が広がる。

## 06 | 学習支援文化の形成

学生同士が資料を通じて学習経験を共有し、互いに成長を支え合う文化が形成される。

成果は利用者数だけでは測れない。学生が自分の未来を考え、次の行動へ移ることこそが、本ライブラリの最終的な価値である。

# 運営上の配慮

信頼される学生支援として、権利・安全・情報の正確性を守る。

- 1 掲載資料** 掲載資料は原則として運営者が独自に作成する。
- 2 著作権** 第三者の著作物を無断転載しない。過去問題や講義資料の無断掲載を行わない。
- 3 参考文献** 参考文献や出典を可能な限り明示し、情報の正確性に配慮する。
- 4 利用規約** 無断転載・転売・不適切利用を禁止する。違反が確認された場合はアクセス権を停止することがある。
- 5 個人情報** 登録情報の取扱方針を明確にし、ライブラリ運営以外への利用を避ける。
- 6 中立性** 特定の進路、研究室、資格、AIサービスを過度に推奨しない。
- 7 公式情報との照合** 大学公式資料ではないことを明記し、試験・履修・進路の重要情報は公式情報と照合する。

運営上の配慮は、資料の価値を守るだけでなく、利用者・協力者・大学担当者への信頼形成にも直結する。

# 今後の展望

資料数の拡大ではなく、一貫性・信頼性・実用性を保ちながら、必要な情報を必要な学生に届ける。

## 継続的改善

既存資料の継続的な改善に加え、利用者の反応を踏まえた資料更新を行う。ただし、資料数の拡大を第一目的とはしない。

## 品質維持

重要なのは、資料全体の一貫性、信頼性、実用性を維持しながら、薬学生・生命科学系学生に実感を持って届く情報を提供し続けることである。

## 学内展開

将来的には、学内での講演、学生向け説明会、教員との連携、学習支援活動への展開も視野に入れる。

## 協力体制

理念と運営方針を明確化することで、教員、学生、協力者、大学担当者が本ライブラリの価値を理解しやすい基盤を整える。

### PRINCIPLE

## 今後も維持すべき原則

本ライブラリは、利用者数や資料数だけを成果指標としない。重要なのは、学生が自らの未来を考え、必要な学びにアクセスし、次の行動へ移ることである。そのため、今後も「未来の選択肢を広げる」という基本理念を中心に、資料の更新、運営、広報、協力体制の整備を進める。

**拡大よりも、一貫性。情報量よりも、判断軸。利用者数よりも、行動変容。**

# 未来の選択肢を広げる。

これが、本ライブラリの存在意義である。

大学生のための未来戦略ライブラリは、単なる学習資料集ではない。それは、薬学生・生命科学系学生が、自分の専門性を見つめ直し、英語やAIを活用し、主体的に未来を選び取るための支援基盤である。

本ライブラリは、知識を一方向的に与えるのではなく、学生が自分の意思で学び、考え、行動するためのきっかけを提供する。特定の正解を示すのではなく、選択肢と判断軸を届ける。

学びに使える。未来につながる。

大学生のための未来戦略ライブラリ  
薬学生・生命科学系学生のための学習・キャリア支援プラットフォーム

YUTO MATSUI | 学生支援団体COMPASS 代表